

カキ生育情報

千葉県

平成20年6月号

【5月の気象】

平均気温は、平年に比べ第2、3、6半旬が0.6℃～5.5℃低く、月平均気温は平年と比べて0.6℃低かった。降水量は第2半旬以外で平年より5～37mm多く、月合計では272mmと平年よりも100mm多かった。日照時間は第2、5半旬で平年より長かったが、残りの4半旬は1hrから22hr短く、合計で39時間短かった。

今年は6月2日に入梅し、昨年よりも約20日早く、平年よりも6日早かった。

表1 平成20年6月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月	1	18.2	16.5	44	20	8	30
	2	16.6	17.2	23	29	37	30
	3	12.2	17.7	67	38	12	30
	4	18.0	17.7	65	28	29	30
	5	19.9	18.3	35	30	34	31
	6	17.9	19.1	39	28	28	36
合計/平均		17.2	17.8	272	172	147	186

【樹の生育】

暖地園芸研究所では、開花盛期は、西村早生が5月20日、松本早生富有と富有は5月26日、平年に比べ2日遅く、開花期間は平年より4～5日短く、5日程度であった。当所における着花量は、西村早生、富有平年に比べ多く、松本早生富有は少なかった。

新梢伸長期に台風による強風日が多かったので、枝折れや葉の損傷が目立っている。またうどんこ病、カメムシによる被害が確認できた。

市原市の松本早生富有の樹の生育は、昨年よりも開花は5日程度遅く、開花期間は3日長かった。着花量は少なく、また目立った病虫害の発生はなかった。

いすみ市の西村早生の樹の生育は、昨年よりも開花は12日遅く、開花期間は昨年と同様に9日であった。着花量は平年並で、目立った病虫害の発生は無かった。また生理落果は現時点で確認されていない。

表2 開花日(平成20年)

品種	調査地	開花日(月. 日)								
		始期			盛期			終期		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生	いすみ市	5.23	5.11	-	5.27	5.16	-	6.1	5.20	-
	暖地園研	5.17	5.9	5.13	5.20	5.15	5.18	5.22	5.22	5.23
松本早生富有	市原市	5.20	5.15	-	5.25	5.20	-	6.2	5.25	-
	暖地園研	5.24	5.17	5.19	5.26	5.23	5.24	5.28	5.27	5.28
富有	暖地園研	5.23	5.16	5.20	5.26	5.22	5.24	5.28	5.26	5.29

注1) 暖地園芸研究所における平成2年から17年間の平均値

【6～7月の作業の要点】

摘果

摘果作業は、果実肥大を良好にし、花芽分化を促進して隔年結果を防止するので、早めに行いたい。生理落果が終了する6月下旬頃から始め、7月上旬頃までに終わらせるようにする。その際、果実、へタともに健全な果実を残し、上向きの果実は摘除する。

着果量の目安は、1果当たり葉数が20～25枚程度とし、葉が5枚以下の結果枝には着果させない。目標とする着果数は、10a当たりで西村早生が12,000果、松本早生富有が11,000果、富有が12,000果程度とする。なお、幼果数の多い樹は、来年の着果を確保するために摘果作業は確実にしたい。また摘果と同時に予備枝に使わない不定芽を摘除し病害虫の発生を予防する。

不完全甘ガキの西村早生では、種子数が少ないと渋果になる。そのため、果頂部が凹んでいる果実は必ず摘果し、腰高の果実を残すようにする。ただし、8月中旬頃と収穫前の9月にも渋果を樹上選果するので、7月の時点では目標着果数より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

病害虫防除

6月下旬から7月下旬まではうどんこ病、落葉病、炭疽病とカキノキマダラメイガやヒメコスカシバなどが類の防除時期である。ただし、西村早生では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。

それぞれ、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に薬剤を散布する。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農業総合研究センター暖地園芸研究所 果樹研究室 TEL 0470-22-2961

※ 果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも
 ごらんいただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>